

「愛されて強運になる」魔法の法則

17. 愛の「休止状態」を回復させる特効薬

愛は冷めるのではな・休止するときがあります。愛をを休止させないことです。

アメリカの女性がパートナーに「愛している？」と絶えず聞くのは、愛を保ち続けるには必須のことだからです。お熱いお国柄だから……と日本人は考えがちですが、心の問題にも率直な意見を交換するアメリカ人は、本気で必要に迫られてやっているのです。

愛人を持つ男性がマーフィー博士に率直にこう言ったそうです。

「僕が愛人を持つ理由は明快だ。彼女と一緒にいると自分の存在意義が感じられる。家での僕はとるに足らない存在であり、妻の小言の聞き役でしかない」

男はえてしてこんな理由でも愛人を持つのです。ここからが男のずるいところですが、この博士の友人は、そうは言っても妻と別れる気はさらさらないので。マーフィー博士は放っておくと大変な事態になると思いました。

火種はたくさんあります。今のところ、奥さんの顕在意識は愛人の存在を察知していないようですが、小言が日ごとに増えているようです。これは奥さんの潜在意識は察知している可能性があります。また愛人がいつ態度を変えて結婚を迫るかも知れません。そのどちらが起きても今のバランスは崩れて、修羅場となりかねません。

博士はこのような夫婦の状態を、愛が冷めたのではなく「休止状態にある」と表現しています。このような状態をどうやって改めたらよいのでしょうか。博士は夫婦を招いて話を聞き、二人が長い間、愛を伝え合っていないことを突き止めました。

博士の勧めで二人が互いに、相手に愛の言葉を伝える習慣を再び持つようになると、休止状態にあった愛が復活し、夫は家庭で威厳を取り戻しました。愛人との関係が消滅したのは言うまでもありません。

離婚が増えているのは、愛の休止状態が増えているからと思われれます。休止状態の愛なら復活は可能です。ところが「愛は燃えるか冷めるかしかない」と思っている人が多いので、休止状態を「冷めた」と錯覚して別れてしまうのです。

これはもったいないことです。愛は男女間ばかりでなく、人生におけるすべての人間関係を最もよい状態に保つ宝です。妻や子や両親、兄弟姉妹ばかりでなく、すべての隣人へ放射させたほうがよいのです。それを一番身近な妻にさえ放射できない夫は、自らの人生を不幸へと運んでいっているようなものです。